

vix emarginato, margine repando, labio inferiore 3-lobato. Stamina 4, perfecta, filamentis posterioribus ca. 1 mm longis, antherarum loculis acutis, filamentis anterioribus ca. 2 mm longis, basi appendiculatis, appendicibus lineari-clavatis ca. 0.5 mm longis. Capsula anguste oblonga, calyce inclusa, ca. 4 mm longa, 1.3 mm lata. Semina ellipsoidea, reticulata, scrobiculata, ca. 0.3 mm longa, 0.25 mm lata.

L. spathacea affinis, sed a qua floribus verticillatis, pedicellis brevioribus, capsulis pendulis differt.

Cambodia. Sine locus (Harmand, no. 2891, typus in P).

* * * *

インドシナのゴマノハグサ科植物は、フランスの Bonati, イギリスの Kerr によって整理されている。今回これらを再検討した結果、色々な新しい事実がわかってきた。特にアゼトウガラシ属、ハナウリクサ属の仲間はインドシナが分化の中心であり、いくつかの新属や新種としなければならないものがある。ここには新種を報告する。

Lindernia cephalantha は雄しべ 2 本で、他の 2 本は仮雄蕊となり、果実は円筒形でスズメノトウガラシ亜属に入るが、花筒が細長く、仮雄蕊がごく短いので、ラオスの *L. aculeata* (Bonati) Yamazaki と共に一つの節を作るものと思われる。*L. pierreanoides* はがくが唇形となる点に特徴があり、アンナンの *L. pierreana* Bonati と共に一つの節を作るものと思われる。*L. stolonifera* はインドネシア、ボルネオからインドシナの山地に分布する *L. latifolia* に近いが花や果実が小さく、はふく茎をもつ点異なる。アンナンの低地に分布する。P. H. Hō 氏がアンナンから図示した *L. latifolia* はこれでないかと思う。*L. udawnensis* は東南アジアの熱帯から温帯に広く分布するウリクサと華南、ベトナムに分布する *L. oblonga* (Benth.) Merrill et Chun に近縁の種類でタイの東北部にのみ分布する。

□D. Werner ed.: *The Biology of Diatoms* Botanical Monographs Vol. 13, 498 pp., Blackwell Scientific Publications, Oxford (1977) £17. 珪藻植物については、従来、野外の採集材料を検鏡して、分類や分布を論ずる研究が多かったが、室内培養法が確立された 1950 年頃より、広く生物学の各分野からの研究が多くなり、原著論文の掲載される雑誌も多方面に亘るようになった。この本は珪藻についての最近の研究結果を、12 章に分けて総説したものである。章の内容は、藻の分類、生長と培養、微細構造、珪酸代謝、光合成、運動、生殖、生態などであり、珪藻の最近の知見の全貌を容易に知ることができ便利である。 (千原光雄)